

道路利用者の声を道路行政に反映させる新たな取り組み

～ グループインタビューの実施について ～

1. はじめに

利用者の視点に立ち、利用者に喜ばれる道路行政を目指すための新たな取り組みとして、平成15年度より沖縄総合事務局と沖縄県の連携のもと、道路利用者の具体的な不満やニーズを調べるための直接対話（グループインタビュー）を県内各地で実施していくこととしました。

2. グループインタビューとは

マーケティングリサーチの調査手法のひとつで、一般に7名程度の調査対象者を一室に集め、司会者からの話題提供に基づき、特定の商品等に対する意見を座談会形式で聞き取りする手法です。調査対象者をなるべく同じ個人属性のグループとすることにより他の発言に共感、触発されて発展的に多くの意見が期待できる調査方法です。

3. 予定

グループインタビューは、今後、様々なグループを対象に沖縄県内各地において随時実施していく予定であり、第1回目を北部地区において、下記のとおり実施します。（詳細については別添参照）

日時：平成15年6月30日（月）10：00～2時間程度

場所：沖縄総合事務局 北部国道事務所 2階会議室

対象グループ：消防署職員（救急搬送車両ドライバー）

テーマ：救急救命活動を行う上でのやんばるの道路の問題点

取材可能です。

平成15年6月27日

沖縄総合事務局

沖縄県

問い合わせ 沖縄総合事務局開発建設部道路建設課（TEL098-866-0091）

課長 松浦（内線4211） 道路計画調整官 照屋（内線4216）

沖縄県土木建築部道路建設課（TEL098-866-2390）

課長補佐 砂川（内線301） 係長 金城（内線310）

北部地区グループインタビューの実施について

1. 目的

道路を利用することの多い職業ドライバーの方々や一般ドライバーを代表する方々を対象に、常日頃から道路に対するどのようなニーズがあるかをグループインタビューで把握し、利用者の視点から道路に対する具体的改善箇所を整理し、道路改善指摘マップを作成する。

2. グループインタビューの対象道路

北部生活圏（金武町、恩納村以北）における国・県・市町村道全般

3. グループインタビューの内容

道路の路面状況、幅員、線形等の構造に関する快適性・安全性

道路緑化による視認性阻害、植栽樹種の適正、景観性

橋梁構造物本体、高欄、照明、その他道路附属施設に対する快適性・安全性

信号の設置箇所、赤・青表示切り替え間隔（特定交差点における）の適正

歩道設置の必要性、歩道路面状況、幅員、段差等の構造に関する快適性・安全性

自転車道設置の必要性

その他

上記に対する具体的改善対策箇所（道路名、区間） 具体的改善内容

4. グループインタビューの対象案（各協会・団体を通じて選抜）

タクシー協会加盟タクシー会社所属運転手

バス会社2社の路線バス運転手

トラック協会加盟運送会社集配車等運転手

消防署職員（消防車・救急車運転手）

2輪系配達車運転手（宅配ビザ、ヤクルト等飲料水）

一般ドライバー

沖縄県交通安全連絡会母の会連絡協議会

交通弱者及び福祉関係者

各々、7から9名程度で実施

上記対象グループから5団体程度を選抜して実施予定

5. 第1回グループインタビューの実施

上記の対象グループから、消防署職員（救急搬送車両ドライバー）を対象にグループインタビューを実施

日時：平成15年6月30日（月）10：00から2時間程度

場所：沖縄総合事務局 北部国道事務所 2階会議室

その他の対象グループについては、各団体調整しながら随時実施していく予定です。

6. グループインタビューの方法

各対象者に座談会方式に集ってもらい、司会者によるインタビュー形式で聞き取り調査を行う。

問い合わせ 沖縄総合事務局北部国道事務所（TEL0980-52-4350）

副所長 小島（内線204） 調査課長 前村（内線451）
